

## セキュリティの強化！

サービスパック2

## Windows XP SP2 導入のすすめ

マイクロソフトがセキュリティを重視したWindowsXPのアップデートモジュールのリリースがされました。まん延するウイルス、頻繁に見つかるセキュリティホール、開くたびに安全性を疑うメール・・・こういった状況を改善するために提供されました。

### 強化1

### セキュリティセンターの新設

セキュリティセンターと呼ぶ監視機構を使用することによって、ウイルス対策ソフトとパーソナルファイアウォール、Windows Update自動更新の状態の監視を容易に行うことができます。ここで重要なセキュリティ設定の状態を常にチェックすることで使う側がセキュリティーの基本対策を怠らないように徹底しています。また、新型ウイルスなどの脅威に関する情報を探したり、セキュリティ関連の問題について Microsoft に問い合わせることもできます。

### 強化2

### パーソナルファイアウォールを初期設定で有効に

以前からパーソナルファイアウォールを備えていましたが、初期設定では「無効」になっていました。それを今回は初期設定から「有効」にしています。

コンピュータをインターネットに接続すると、ウイルス、ワーム、ハッカー、侵入者などによる被害を受ける可能性があります。コンピュータをウイルスなどの脅威から守るためには、ファイアウォールで防御し、最新のウイルス対策プログラムを常時実行する必要があります。

ファイアウォールまたはウイルス対策プログラムの最新版を実行していない場合は、タスクバーの右端にある通知領域(時計の左)に警告が表示されます。この警告をクリックすると、セキュリティセンターが開き、問題に対処することができます。

### 強化3

### ポップアップメニューのブロック

多くの合法的な広告主が、画面上で開くポップアップ ウィンドウを利用して、インターネットに広告を掲載しています。このようなポップアップ ウィンドウは、Web サイト上のリンクやボタンをクリックすると表示され、アクセスした Web ページのウィンドウの上に現れたり、ページの背後で開いたりします。役に立つポップアップ ウィンドウもあります。たとえば、クリックした画像を拡大表示する場合です。その一方で、不適切な内容を表示するものや、危険性のあるソフトウェア("スパイウェア" または "アドウェア") を無意識のうちにダウンロードするように仕向けるものもあります。SP2の Internet Explorer では、アクセスした Web ページ上にポップアップ ウィンドウが表示されないようにすることができます。

### 強化4

### 被害を最小限に抑える

ウイルスやワームの一部には、他の実行ファイルを偽装して潜り込み、本来はプログラム実行領域ではない場所(データ領域)に隠してあるプログラムに制御を渡して機能しようとするものがある。こうしたウイルス/ワームは発見が難しいのでこれらが悪用できないように抑止します。

編集者より：パソコンの安全性を保つのはなかなか難しいものです。このようなセキュリティー強化するものを利用して、ウイルス対策などの意識を高めて下さい。(ナガオ)